【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2006-26886(P2006-26886A)
【公開日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2005-115179(P2005-115179)
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｄ　45/16　　(2006.01)
Ｂ２７Ｂ　 9/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｄ　45/16
Ｂ２７Ｂ　 9/00　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月31日(2008.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
刃物と、該刃物を駆動させる電動機と、該電動機を収納するハウジングと、開口部及び底面を有するベースとを備え、前記刃物は前記開口部を介して前記ベース底面よりも下方に突出し、相手材上面で前記ベース底面を摺動させながら切削作業が可能な電動工具において、
少なくとも前記ベースの底面にフッ素を含有した樹脂を塗装したことを特徴とする電動工具。
【請求項２】
前記ベースの切断方向前方端面と前記ベース底面とを傾斜面もしくは曲面で連結したことを特徴とする請求項１記載の電動工具。
【請求項３】
前記開口部の切断方向後方内周部と前記ベース底面とを傾斜面もしくは曲面で連結したことを特徴とする請求項１あるいは請求項２記載の電動工具。
【請求項４】
前記ベースの切断方向後方端面と前記ベース底面とを傾斜面もしくは曲面で連結したことを特徴とする請求項１～請求項３のいずれか１項記載の電動工具。
【請求項５】
前記ベースに接続され、前記ベース側面と対面するガイド面を有するガイド部材についても少なくとも前記ガイド面にフッ素を含有した樹脂を塗布したことを特徴とする請求項１記載の電動工具。
【請求項６】
前記樹脂は少なくとも前記ベースの底面から前記切断方向前方端面にかけて塗装されていることを特徴とする請求項１～請求項５のいずれか１項記載の電動工具。
【請求項７】
前記樹脂は少なくとも前記ベースの底面から前記切断方向後方内周部にかけて塗布されていることを特徴とする請求項３記載の電動工具。
【請求項８】

前記樹脂は少なくとも前記ベースの底面から前記切断方向後方端面にかけて塗布されていることを特徴とする請求項４記載の電動工具。

【請求項９】

前記樹脂を塗装後に前記ベースの素材の融点よりも低い温度にて前記ベースを焼成したことを特徴とする請求項１～請求項８のいずれか１項記載の電動工具。

【請求項１０】

前記樹脂の塗装は、前記ベースの型成形後に少なくとも前記ベース底面を粗し処理した後に行うことを特徴とする請求項１～請求項９のいずれか１項記載の電動工具。

【請求項１１】

前記ベースに設けられたネジ穴を介して前記ベースを吊るした状態で前記ベースのほぼ全体に前記樹脂が塗装されることを特徴とする請求項１～請求項１０のいずれか１項記載の電動工具。

【請求項１２】

刃物と、該刃物を駆動させる電動機と、該電動機を収納するハウジングと、開口部及び底面を有するベースとを備え、前記刃物は前記開口部を介して前記ベース底面よりも下方に突出し、相手材上面で前記ベース底面を摺動させながら切削作業が可能な電動工具において、

前記ベースの切断方向前方端面と前記ベース底面とを傾斜面もしくは曲面で連結し、前記ベースの底面及び前記傾斜面もしくは前記曲面にフッ素を含有した樹脂を塗装し、前記ベース底面に塗装された前記樹脂は、前記ベース底面の塗装箇所により塗装量が異なることを特徴とする電動工具。

【請求項１３】

前記樹脂は、前記ベース底面の外周部にのみ塗装されていることを特徴とする請求項１２記載の電動工具。